

平成28年度男女共同参画週間記念事業 ひょうごフォーラム開催報告

平成28年7月7日(木) 13:30~15:30

前厚生労働事務次官、村木厚子氏に、「働き続けるあなたに贈るメッセージ」をテーマにご講演いただきました。

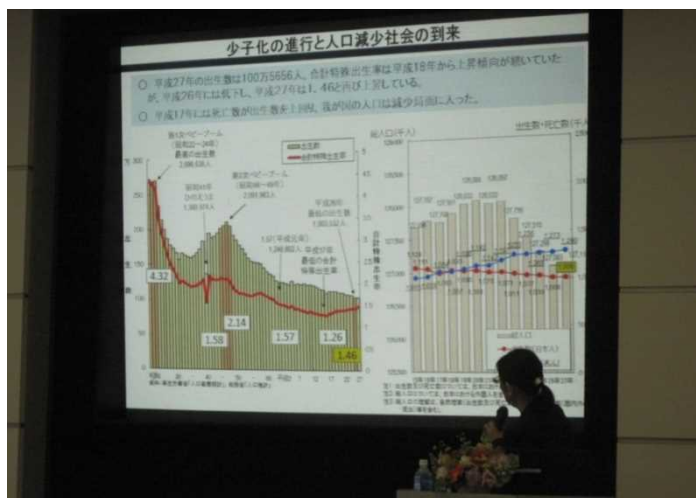
参加をお断りせざるをえなくなるほど多くの方からお申し込みをいただき、350名以上の方が来場されました。

語り口は穏やか、にこやかな表情に会場は和やかな雰囲気スタート。



保育ママさんに助けられての育児、仕事でのご苦勞など随所で村木さんご自身の体験をもユーモアたっぷりにお話しされました。子連れで島根に赴任した時に「公務員宿舎に残った夫は、『彼は奥さんと子どもに逃げられたらしいよ』ということになっていました」といったエピソードが披露され、会場から笑いが沸き起こることも。

豊富な資料、図、グラフを使い、分かりやすく説明してくださいました。



左側のグラフのポイントは2つ。

- 左上の最も高い山：第一次ベビーブーム
- 真ん中のもう一山：第二次ベビーブーム

↓ しかし・・・

1 第三次ベビーブームはなかった

「3つめの山がないということがこのグラフの大事なポイントです」

2 親の数が減る時代に突入

「親の数が減ると、出生率が上がっても出生数が増えません」

レジメに載っていないとても大事なお話もたくさんありました。そのうちのいくつかをご紹介します。

1 女性の活躍で上手くいっている会社の共通点3つ

① トップの決意

トップの意識がしっかりしていれば変わる

② 座標軸を2つ作る

働きやすさ：仕事を辞めずにすむのは最低条件

働きやすさだけだと辞めないけど仕事をしない社員が増える

働きがい：がんばれる魅力が仕事に必要な

③ 普遍的な制度、お互い様の制度にする

育児、介護、自己啓発、いろいろなケースに対応できる普遍的な制度であれば、それぞれ制度を利用する人が肩身の狭い思いをしなくて済む

2 後輩への4つのアドバイス

- ① 異動や新しい仕事が回ってきたらチャンス。引き受けよう
一つのことを深くやることも大切だが、間口を広げることも大切
- ② 昇進のオファーがあれば引き受ける
昇進という階段を登ると見える景色が違ってくる
背伸びでは決して見えない仕事をもっと広い視野で見渡せるようになる
- ③ 元気な女性に対してのアドバイス
文句は言っても良いが、行動が伴わなければ「文句」のままになる
やることをやる人が言うと、それは「提案」になる
- ④ ネットワークをつくる
職場に女性が少ないなら、なおさらネットワークは必要。孤立を防げる。

3 家庭生活との両立のための4つのアドバイス

- ① 外部のサービスを使い余裕を持つ
ベビーシッター、ファミリーサポートセンターなど
- ② 悩まない、考えすぎない
まじめで悩む人は、マイナスに悩んでしまい、パフォーマンスが40～50%に落ちる
悩むならどうやったら職場に貢献できるかといったように前向きに悩む。
- ③ 貸し借りの感覚を大切にする
育児期は人に助けてもらうことが多いが、それは後でどこかで返せば良い
- ④ やりがいのある仕事をすることをあきらめない
育児期など引き込み線に入るときがあっても、元に戻ることをあきらめない
育児、介護はマイナスではなく、経験は修羅場で活きる

時間の都合でお二人に限って質問を受け、回答いただきました。



・兵庫県の男性に向けて、働き続ける女性を支えるために必要なポイントをお話いただきたい

→ 女性と男性がパートナーとして一緒に背負うという気持ちを持つことが大事。一緒に背負うと男性の肩の荷も相当軽くなるはず。今までの役割分担を変えるというのは大変なので、多少喧嘩しながらでも、折り合いをつけていくのを逃げずにやっていくことではないか。

・子育てをしながら仕事をする上で何が一番大変だったのかを話してもらいたい

→ あの頃の自分が「今一番ほしいものは？」と聞かれたら「時間」と答えると思う。今、振り返ると、「もっと家事をサボればよかった。子どもの記憶に残ることにもっと集中すればよかった」というのが反省点で、後輩にはそう勧めている。もう一つは、大変だったから、なんとかなることだけを考えてということが身についた。そのことは後から大変役に立った。いろいろなことを泣きそうになりながらたくさんやってたから頑張れたかなと思う。

最後に会場から拍手で村木氏に感謝をお伝えし、フォーラムは終了となりました。